

小平奨励賞

—これまでの受賞者—

No	回(年度)	氏名(年齢、住所は受賞時)	活動概要
1	第1回奨励賞 (昭和48年)	田中孝之氏(36歳) (那珂湊市)	15年間にわたる点訳奉仕活動(105巻11000頁)。
2	”	横川はるの氏(64歳) (岩井市)	40年間学校の環境整備。
3	第2回奨励賞 (昭和49年)	青木健氏(38歳) (西茨城郡七会村)	辺地の医療活動。
4	”	田代千代氏(62歳) (西茨城郡岩間町)	多くの恵まれぬ子の里親となり養育。
5	” 特別賞	小松辰義氏(62歳) (水戸市)	施設児童への散髪奉仕。
6	”	鈴木宏氏(49歳) (鹿島郡神栖町)	交通安全と青少年育成。
7	”	市川喜久氏(70歳) (土浦市)	地域住民の生活向上に活躍。
8	”	渡辺守氏(69歳) (日立市)	38年間気象観測に精励。
9	”	和知理吉氏(72歳) (鹿島郡鉾田町)	苗木を続けて寄贈し環境美化に寄与。
10	第3回奨励賞 (昭和50年)	矢吹和夫氏(43歳) (西茨城郡友部町)	情緒障がい特殊学級の献身的指導。
11	”	丹下保氏(37歳) (東茨城郡常北町)	言語障がい児の科学的指導と治療。
12	”	宮田四郎氏(80歳) (西茨城郡岩瀬町)	30年にわたり辺地医療に貢献。
13	” 特別賞	稲垣吉郎氏(44歳) (日立市)	環境美化や交通指導の実践奉仕。
14	”	関根平吉氏(64歳) (東茨城郡大洗町)	青少年の健全な育成と交通安全活動。
15	第4回奨励賞 (昭和51年)	飯島匡孝氏(70歳) (行方郡牛堀町)	長年、青少年の健全な育成に貢献。
16	” 特別賞	松島三男氏(51歳) (行方郡牛堀町)	里親として不幸な子の養育。
17	”	丸山勝雄氏(44歳) (日立市)	知的障がい児等特殊教育に献身。
18	”	塩谷藤一氏(63歳) (水戸市)	駅構内の旅客サービスに精励。
19	第5回奨励賞 (昭和52年)	寺山則夫氏(55歳) (那珂郡那珂町)	手話を普及し、ろうあ者の福祉向上に活躍。
20	”	結城姫路氏(78歳) (日立市)	長年に亘り障がい児貧困児の教育保育に貢献。
21	”	壺の会(15名) (水戸市)	15人のグループで身障者への奉仕活動。
22	” 特別賞	青木保夫氏(50歳) (猿島郡総和町)	非行防止と環境の浄化に貢献。
23	第6回奨励賞 (昭和53年)	成田啓五氏(68歳) (水戸市)	重症身障児「あけぼの学園」の献身的運営と活動。
24	”	清宮傑子氏(48歳) (日立市)	ボランティア活動により福祉行政の先駆的役割遂行。
25	”	針谷咲江氏(47歳) (猿島郡猿島町)	30年間温かい教育の実践と道徳教育の昂揚。
26	第7回奨励賞 (昭和54年)	鈴木堅之氏(82歳) (下館市)	毎朝居住地周辺の道路清掃奉仕。
27	”	チェリーズ(8名) (高萩市)	8人の音楽グループで福祉施設の慰問活動。
28	第8回奨励賞 (昭和55年)	中山亥次郎氏(69歳) (古河市)	昭和48年8月から毎日国道交差点に自発的に立哨、事故防止に献身。
29	”	住田恵孝氏(73歳) (土浦市)	昭和24年から障がい児を里子として引き取り、教育に精励。

No	回(年度)	氏名(年齢、住所は受賞時)	活動概要
30	第9回奨励賞 (昭和56年)	有田道子氏(48歳) (取手市)	昭和48年から自宅の一部に子供文庫を開き子供たちの豊かな情操教育に奉仕。
31	〃	籠橋玉乃氏(65歳) (東茨城郡茨城町)	昭和32年から日赤茨城県支部乳児院でオムツの洗濯業務に従事、乳児たちの健康、衛生管理に献身。
32	第10回奨励賞 (昭和57年)	秋葉智教氏(56歳) (水戸市)	昭和38年から印章技術を生かし、養護施設、福祉施設の卒業生に印鑑を贈呈。
33	第10回奨励賞 (昭和57年)	池田悦子氏(58歳) (稲敷郡新利根村)	昭和51年から障がい者のための福祉作業所を開き、献身的な指導と活動。
34	〃	松村丈氏(81歳) (結城郡千代川村)	昭和36年から、児童生徒の保護誘導活動の交通安全指導と非行防止に尽力。
35	第11回奨励賞 (昭和58年)	門井善四郎氏(74歳) (水戸市)	昭和54年から雨の日も風の日も欠かすことなく、千波湖畔の空き缶や紙くず拾いの清掃奉仕活動。
36	〃	幸せの会(6名) (行方郡北浦村)	6人で、青少年のたまり場一声運動、独居老人宅の清掃や愛の電話など明るい地域社会づくりに貢献。
37	第12回奨励賞 (昭和59年)	熊耳リエ氏(64歳) (常陸太田市)	週2日～3日間老人ホーム「西山荘」で献身的な奉仕活動を行っている。
38	〃	朝波会(7名) (那珂湊市)	理容所を運営する7名で毎月第2火曜日に老人ホームへ出かけ、散髪奉仕活動を続けて25年。
39	第13回奨励賞 (昭和60年)	岡田悦雄氏(53歳) (新治郡新治村)	地元小学校児童を交通事故から守る交通安全立哨及び多彩なボランティア活動。
40	〃	大内照夫氏(49歳) (笠間市)	国道355号線手越地区の空缶やゴミくず、たばこの吸いがらなどの道路清掃奉仕。
41	第14回奨励賞 (昭和61年)	井坂よしゑ氏(74歳) (水戸市)	20余年間、地元の小学校・幼稚園に手作りのぞうきんを贈呈。
42	〃	イーグル・クラブ(28名) (日立市)	昭和42年から、青少年施設の慰問援助、目の不自由な方の送迎など28名のメンバーによる奉仕活動。
43	第15回奨励賞 (昭和62年)	植田タキ氏(67歳) (水戸市)	茨城県点訳友の会に入会以来20年、点訳者としてボランティア活動。
44	〃	荃崎グループ(3名) (稲敷郡荃崎町)	心身障がい者(児)施設で、手作りのお菓子づくりボランティア活動。
45	第16回奨励賞 (昭和63年)	石川歳男氏(63歳) (北茨城市)	昭和36年救急法指導員資格を取得以来ボランティアとして救急法指導ひと筋に専念。
46	〃	篠塚晃氏(63歳) (行方郡潮来町)	自宅に道場を設け、長年剣道を通して青少年の健全育成・不良化防止に尽力。
47	第17回奨励賞 (平成元年)	坪松亨氏(55歳) (真壁郡明野町)	地域における青少年非行防止のために昼夜を問わず献身的に活動。
48	〃	三村文子氏(74歳) (水戸市)	農作業のかたわら専門用語や外国語の多い月刊誌「医道の日本」の音訳活動に尽力。
49	〃 さわやか賞	古山善次郎氏(81歳) (日立市)	特別注文する朝顔の種子を幼稚園や小学校の公共施設・老人会などにプレゼントの活動。
50	第18回奨励賞 (平成2年)	小林重夫氏(72歳) (日立市)	障がい児・病弱児・登校拒否児の献身的指導。
51	〃	たんぼぼの会(46名) (土浦市)	病院、図書館などのボランティア活動。
52	第19回奨励賞 (平成3年)	関石造氏(69歳) (日立市)	交通安全思想の啓発、普及に尽力された。
53	〃	土江美智氏(62歳) (取手市)	昭和53年から毎週水曜日に手芸クラブの指導に訪荘、心豊かな会話など老人に夢と創作の喜びを与えた。
54	第20回奨励賞 (平成4年)	川又あい氏(76歳) (水戸市)	昭和46年から視覚障がい者のため点訳奉仕に打ち込み、現在までに21,235頁に及ぶ点訳を完成。
55	〃	日立総合病院ボランティアグループ(55名) (日立市)	18年間にわたり、患者の介護補助、受付案内、洗濯物の整理などのボランティア活動を続けた。
56	第21回奨励賞 (平成5年)	嶋根瑞夫氏(69歳) (勝田市)	昭和38年に交通安全評議会議員に就任以来、30年間、勝田市市毛の交差点で交通指導、立哨活動を続けた。
57	〃	M.E.S.Aフレンドシップ(54名) (水戸市)	昭和59年に結成された在日外国人留学生のためのボランティア団体。例会、交流会、日本語教室などを開催。
58	〃 さわやか賞	つくば市豊里地区老人クラブ連合会そば部会(16名) (つくば市)	つくば市「ゆかりの森」で毎週日曜日そば打ちの披露と指導を実施。長寿大学他でのそば打ちボランティア活動。
59	第22回奨励賞 (平成6年)	山田栄吉氏(57歳) (水戸市)	23年間にわたりご夫婦で、障がいを持つ子供たちのためにボランティア活動を行っている。

No	回(年度)	氏名(年齢、住所は受賞時)	活動概要
60	〃	大内正勝氏(44歳) (那珂郡那珂町)	25年間にわたる献血活動、交通遺児、障がい者施設への募金、手話の指導等、地域に根ざしたボランティア活動。
61	第23回奨励賞 (平成7年)	土井茂子氏(80歳) (日立市)	視覚障がい者へ送る声の市報作成を1976年から19年間続けている。西アフリカの孤児へ文具などを送っている。
62	〃	コスモ・エコー(63名) (土浦市)	1985年のつくば科学万博と同時に発足し、科学万博期間中は通訳ボランティアとして積極的に活躍
63	第24回奨励賞 (平成8年)	坂本生氏(79歳) (日立市)	アルツハイマー病の妻の映画を自費で制作。重症心身障がい者や日立鉱山、郷土文化財をテーマにした映画も制作。
64	〃	鈴木ウタ氏(74歳) (水戸市)	長年に亘る点訳ボランティア活動。障がい者が外出する際ガイドヘルパーとしても活躍中。
65	第25回奨励賞 (平成9年)	奥井登美子氏(64歳) (土浦市)	20余年にわたり、きれいで安全な水の実現に奔走。薬剤師の傍ら、子ども向けの文筆活動でも活躍。
66	〃	福元清二氏(77歳) (水戸市)	交通安全を願い、メイン通りで20年以上にわたり立哨活動。得意の手品で小学校や老人施設を慰問。
67	第26回奨励賞大賞 (平成10年)	須之内初子氏(61歳) (鹿島郡波崎町)	地域融和を目指した読書会や民話を発掘しこれを基にした人形劇公演。青少年の郷土愛意識の高揚に貢献。
68	〃 特別賞	県南地域医療懇話会(230名) (土浦市)	市民や専門家が集まり保健、医療、福祉の向上を目指し、高齢社会への貴重な提言は大いに期待されている。
69	〃 特別賞	茨城県理容環境衛生同業組合太田支部(80名) (常陸太田市)	会員が交互に高齢者施設を慰問。散髪奉仕と楽しい話題提供はお年寄りの楽しみになっている。
70	〃 特別賞	古河手話サークル(51名) (古河市)	手話の勉強を通し、相互の理解を深めながら地域のイベントにも参加。障がい者と健常者の橋渡し役を目指す。
71	第27回奨励賞大賞 (平成11年)	安島光二氏(74歳) (水戸市)	ガン患者やその家族の悩みを和らげる「茨城よるこびの会」を設立。ガン患者の心の支えとなっている。
72	〃 特別賞	かけ絵同好会(14名) (日立市)	住民のコミュニケーションや子どもたちへの民話伝承を目的に影絵の公演活動を25年間継続。
73	〃 さわやか賞	日立市立水木小学校児童会(508名) 日立市立泉丘中学校生徒会(628名) (日立市)	ハマギクを絶滅の危機から守るため、地元住民と共にハマギクを移植、環境保全に貴重な役割を果たす。
74	第28回奨励賞大賞 (平成12年)	江原徳子氏(64歳) (水戸市)	老人ホーム慰問、障がい者カラオケ大会主催、福祉作業所設置など障がい者の社会参加を積極的に支援。
75	〃 特別賞	ピピスタッフの会(約50名) (日立市)	昭和60年より、詩の募集、作曲演奏、公演活動などを担う。障がい者のメッセージは市民に感動を与えている。
76	〃 特別賞	日本赤十字社茨城県支部乳児院奉仕団(61名)(水戸市)	昭和61年の奉仕団結成以来、身寄りのない乳児の世話や乳児院の清掃活動を行う。
77	第29回奨励賞大賞 (平成13年)	小澤洋氏(41歳) (水戸市)	昭和60年に精神障害者水戸共同作業所「ひだまり」開所以来、指導員として精神障がい者の社会参加促進に尽力。
78	〃 特別賞	成田みつ江氏(69歳) (常陸太田市)	昭和62年に「ビュルガー病友の会」を結成して以来、会長として心の不安を解消する活動を推進。
79	〃 特別賞	立原三郎氏(65歳) (那珂郡東海村)	国立療養所晴嵐荘病院の重症心身障がい者に対し、休日に散髪奉仕を無償で32年間継続。
80	第30回奨励賞大賞 (平成14年)	渡邊千代子氏(61歳)並びに日立市ダウン症親の集い(43名)(日立市)	昭和49年「日立市ダウン症親の集い」結成以来、知的障がい者と地域のために活躍。
81	〃 特別賞	虹の会(45名) (つくば市)	昭和56年から21年間、外国人を対象に日本語教室など各種生活支援と交流活動を展開。
82	〃 特別賞	谷中子ども文庫(53名) (北相馬郡藤代町)	文庫開設以来27年間、ストーリーテリングなどユニークな活動を展開し地域の読書環境の充実に努めた。
83	第31回奨励賞 (平成15年) 個人の部	左近政子氏(68歳) (稲敷郡美浦村)	高齢者・障がい者へのボランティア活動に積極的に取り組む。民生委員としても地域福祉に情熱を注がれた。
84	〃 団体の部	おたまじゃくしの会(21名) (日立市)	昭和56年に会を結成、重度の知的障がい者、自閉症等の障がい児とその親を対象に親子水泳教室を開催。
85	第32回奨励賞 (平成16年) 個人の部	中山美智子氏(55歳) (下館市)	昭和58年知的障害者生活ホーム「なんそう寮」を自費で設立。以来、障がいをもった方々の職場開拓などを支援。
86	〃 団体の部	社会福祉法人茨城いのちの電話相談員の皆さん(260名)(つくば市)	19年間に亘り365日休むことなく年間3万件を超える電話相談に24時間体制で対応している。
87	第33回奨励賞 (平成17年) 個人の部	清水秀文氏(73歳) 清水八重子氏(71歳) (かすみがうら市)	昭和53年に里親の認可を受け、以来27年間に亘り10人の子どもたちを養育。
88	〃 団体の部	茨城県消費者リーダ-養成講座修了生連絡会(約300名)(水戸市)	昭和48年に連絡会を結成。以来32年間に亘り自立し行動する消費者をめざし活動してきた。
89	第34回奨励賞 (平成18年) 個人の部	清水昇勝氏(68歳) (石岡市)	昭和61年に全国パーキンソン病友の会茨城県支部を創設し、献身的に活動してきた。

No	回(年度)	氏名(年齢、住所は受賞時)	活動概要
90	〃 団体の部	はとの会(58名) (取手市)	老人ホームや障がい者施設の訪問、若い人の体験ボランティア、藤代駅清掃など幅広い活動を21年間続けている。
91	〃 特別賞	松田 普氏(81歳) 松田 和枝氏(76歳) (水戸市)	20年間地域の高齢者や障がいを持つ人、生活支援を必要とする人を定期的に訪問し相談相手になっている。
92	〃 特別賞	六好会(61名) (土浦市)	地域ぐるみの福祉や健康づくりを目指した自主的・先駆的なボランティア活動を19年間続けている。
93	第35回奨励賞 (平成19年)個人の部	谷島 静江氏(72歳) (水戸市)	30年以上に亘り重症心身障がい者と関り、染色指導により物づくりの楽しさや喜びを与え続けている。
94	〃 団体の部	さくらボランティアグループ (22名)(日立市)	特別養護老人ホームで入所者のおむつたたみや衣類の繕いなどのボランティア活動を32年間続けている。
95	第36回奨励賞 (平成20年)個人の部	井坂 日出代氏(72歳) (石岡市)	25年に亘り心身に障がいのある子どもたちへの指導や、お年寄への折り紙や手芸などの指導を続けている。
96	〃 団体の部	土浦朗読の会(61名) (土浦市)	35年に亘り目の不自由な方へ、声の広報誌や音訳図書の提供を続けている。
97	第37回奨励賞 (平成21年)個人の部	菊池 なか氏(77歳) (笠間市)	平成12年にNPO法人ひまわりを設立し、地域の高齢者や独居者、障がい者の介護や生活支援を続けている。
98	〃 団体の部	NPO法人 ピコット(36名) (潮来市)	平成12年に「福祉の店ピコット」を立上げ、地域の障がい児の社会参加支援活動を続けている。
99	第38回奨励賞 (平成22年)	日高 恵美子氏(71歳) (取手市)	15年に亘り精神障がい者の社会参加、自立支援を続けている。
100	〃	国際交流ボランティア ネットワークさくら(36名)(日立市)	20年に亘り地域在住の外国人に日本語教室や異文化交流、ホームステイなど幅広い国際交流活動を続けている。
101	第39回奨励賞 (平成23年)	日立点訳友の会(11名) (日立市)	38年に亘り目の不自由な方々への点訳奉仕活動を続けている。
102	〃	高柳 美智子氏(86歳) (水戸市)	空き缶やプルタブ回収により、地域の社会福祉施設への椅子寄贈を21年間続けている。
103	第40回奨励賞 (平成24年)	早田 恵子氏(56歳) (神栖市)	30有余年に亘り、障がいのある方とその家族への療養支援や手話指導などのボランティアを続けている。
104	〃	おはなしボシエットの会(22名) (阿見町)	19年に亘り、阿見町立図書館を中心に絵本の読み聞かせなどのボランティア活動を続けている。
105	〃 特別賞	(社)ライフ・ケア・ひたち (協会会員262名)(日立市)	24年に亘り、女性を中心とした会員による高齢者援助や育児支援などを続けている。
106	第41回奨励賞 (平成25年)	熊谷 美喜代氏(70歳) (笠間市)	30年に亘り、地域の子どもたちへの読書活動や手作り絵本・布絵本の創作活動を続けている。
107	〃	NPO法人 水戸こどもの劇場 (会員390名)(水戸市)	40有余年に亘り、地域の子どもやその保護者を対象とした子育て支援活動を続けている。
108	第42回奨励賞 (平成26年)	宮田 孝市氏(74歳) (東海村)	29年に亘り、毎日 東海村豊岡なぎさの森やその周辺道路のごみ拾いを続けている。
109	〃	阿見町介護サークル 人仁の会 (会員27名)(阿見町)	19年に亘り、地域の老人ホームや介護施設でシャツ交換や整髪介助などのボランティア活動を続けている。
110	〃 特別賞	下館輪投げの会 (会員30名)(筑西市)	14年に亘り、輪投げを通じて高齢者の地域活動の創出と三世代交流促進を行っている。
111	第43回奨励賞 (平成27年)	野木 利三郎氏(87歳) (那珂市)	福祉施設への雑巾寄贈、障がい者宅の除草、善意銀行への寄付他、各種ボランティア活動を長年実施。
112	〃	ひたち人形劇団パッペ (会員12名)(日立市)	28年に亘り、地域の幼稚園や保育園、小学校他で子ども向けの人形劇を年間25回程度公演実施。
113	第44回奨励賞 (平成28年)	鈴木 彪夫氏(78歳) (石岡市)	20年に亘り、東光台地区の沿道や公園の除草・清掃作業を自ら率先して行い、地域の環境美化に務めている。
114	〃	取手朗読奉仕会 ぶんぶん (会員18名)(取手市)	41年に亘り、広報誌等の音訳CD作成、点字図書の音訳、対面朗読など視覚障害者の目となって支えている。
115	〃 特別賞	フレンドリーあんず (会員61名)(日立市)	31年に亘り、東南アジアの子供達への教育支援や在住外国人日本語教室開催など地域国際交流活動を実施。
116	第45回奨励賞 (平成29年)	吉田 實宏氏(81歳)	43年に亘り 茨城町の小学校において正しい自転車の乗り方の指導を実施。
117	〃	手話の会「わ・Wa・和」	35年に亘り 牛久市内の聴覚障がい者のために ボランティア通訳などの支援と子供手話教室を開催。